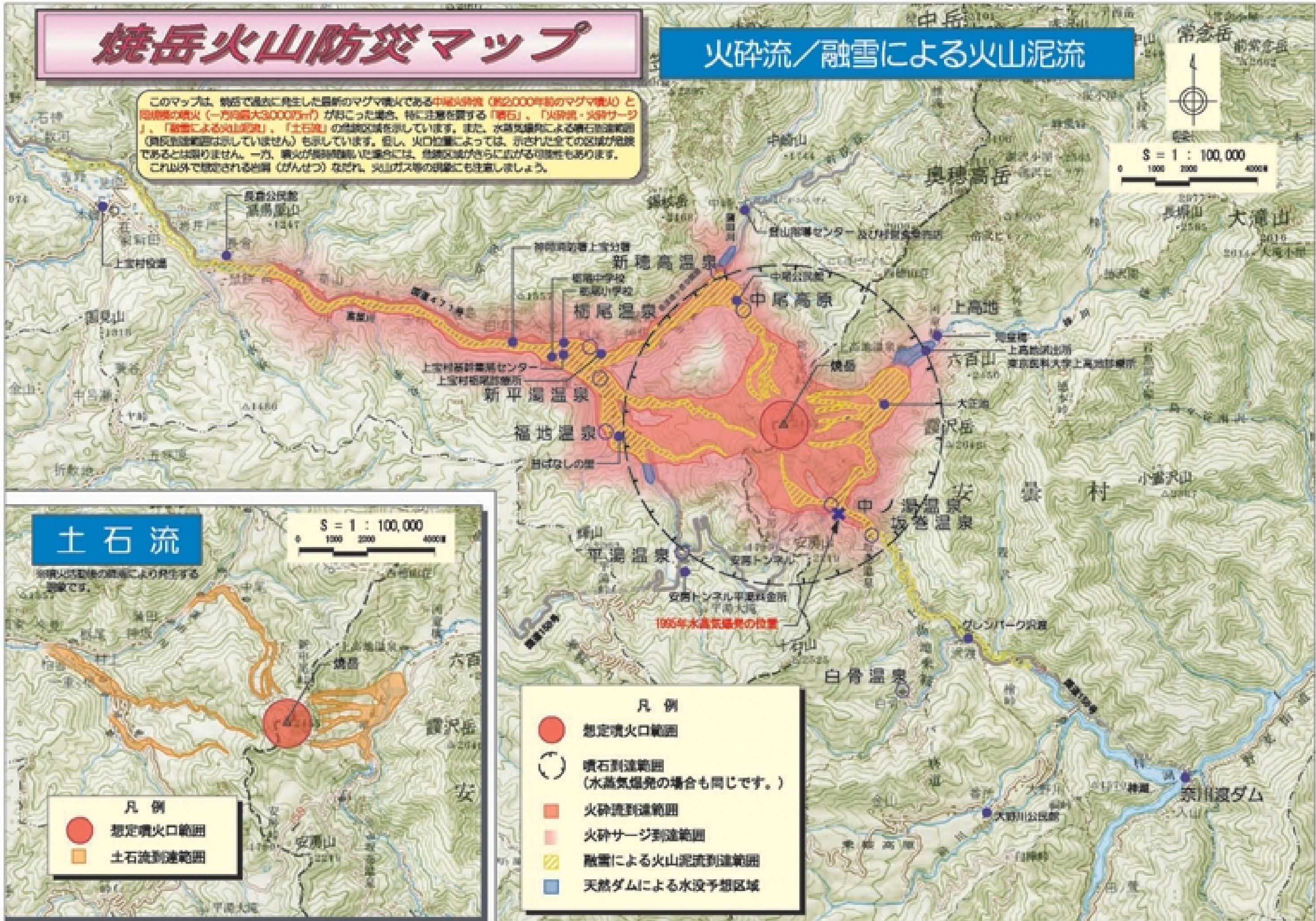


焼岳火山防災マップ

火砕流／融雪による火山泥流

このマップは、焼岳で過去に発生した最新のマグマ噴火である中尾山噴火（約2,000年前のマグマ噴火）と同時期の噴火（一方の噴火大3,000万m³）があった場合、特に注意を要する「噴石」、「火砕流・火砕サーージ」、「融雪による火山泥流」、「土石流」の危険区域を示しています。また、水蒸気爆発による噴石到達範囲（同程度の噴火は示していません）も示しています。但し、火口位置によっては、示された全ての区域が危険であるとは限りません。一方、噴火が長時間続いた場合には、危険区域がさらに広がる可能性もあります。これ以外で想定される危険（びんせつ）をだれ、火山ガス等の現象にも注意しましょう。

S = 1 : 100,000
0 1000 2000 4000



土石流

噴火活動後の降雨による発生する現象です。

S = 1 : 100,000
0 1000 2000 4000



凡例

- 想定噴火口範囲
- 噴石到達範囲
(水蒸気爆発の場合も同じです。)
- 火砕流到達範囲
- 火砕サーージ到達範囲
- 融雪による火山泥流到達範囲
- 天然ダムによる水没予想区域

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。(承認番号 平13総復、第419号)」